

12:04 (2)

1/1

様式9-1 (1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第19037報)

平成30年12月16日11時55分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦
 連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	(対応日時, 対応の概要) 第19036報にてお知らせした、1号機使用済燃料プール(以下、「SFP」という。)循環冷却系の監視装置異常に関するその後の状況をお知らせします。 1号機SFP循環冷却系の監視装置については12月16日11時06分に復旧しました。今後、1号機SFP循環冷却は準備が整い次第、復旧します。 1号機SFP循環冷却系の停止・起動実績については、別途お知らせ致します。 【公表区分：D続】
その他の事項の対応(注3)	なし

※添付の有・無 (無)

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

15:34 (受)

1/2

様式9-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第19038報)

平成30年12月16日15時10分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所

原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第12993報他でお知らせした、地下貯水槽周辺の観測孔において全ベータ放射能が上昇した事象、及び第13274報他でお知らせした、地下貯水槽i南西側及び北東側の漏えい検知孔水において全ベータ放射能が上昇した事象について、下記のとおり水の分析を実施しましたので、お知らせします。</p> <p>・地下貯水槽 トリチウム分析結果 [採取日 12月14日]</p> <p>今回の分析結果は、至近の分析結果と比較して有意な変動はありませんでした。</p> <p>引き続き、地下貯水槽周辺の監視を行うとともに、全ベータ放射能が上昇した原因を調査していきます。</p> <p>【公表区分：D続】</p> <p>※添付の有・無</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2018年12月16日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

地下水槽 トリチウム分析結果(2018年12月14日分)

地下水槽(ドレン孔水)														
	i		ii		iii		iv		v		vi		vii	
	北東側	南西側	北東側	南西側	北東側	南西側	北東側	南西側	北西側	南東側	北西側	南東側	北東側	南西側
採取日											12月14日			
採取時刻											8:00		8:13	
トリチウム(Bq/L)											650		600	

半減期 トリチウム:約12年

地下水槽(漏えい検知孔水)														
	i		ii		iii		iv*		v*		vi		vii*	
	北東側	南西側	北東側	南西側	北東側	南西側	北東側	南西側	北西側	南東側	北西側	南東側	北東側	南西側
採取日														
採取時刻														
トリチウム(Bq/L)														

半減期 トリチウム:約12年

(注1)トリチウムは月1回分析を行っている。
(注2)NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。
*漏えい検知孔iv、v、viiは、採取対象としていない。

15:34 (受)

1/2

~~様式0-1(1/2)~~

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第19039報)

平成30年12月16日15時10分

内閣総理大臣，原子力規制委員会，福島県知事，大熊町長，双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦
 連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所 (注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻 (注1)	平成23年3月11日 16時36分 (24時間表示)
特定事象の種類 (注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号，省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要 (注2)	<p>(対応日時，対応の概要)</p> <p>第8137報他でお知らせした、1号機放水路上流側立坑においてCs-137の濃度が上昇した事象、及び第10182報他でお知らせした、2号機放水路上流側立坑において全ベータ放射能及びトリチウム濃度が上昇した事象について、1号機及び2号機放水路上流側立坑水の分析を実施しましたので、以下のとおり報告します。</p> <p>・福島第一原子力発電所構内1号機、2号機放水路サンプリング結果 [採取日 12月14日]</p> <p>今回の分析結果については、至近の分析結果と比較して有意な変動はありませんでした。今後も監視を継続していきます。</p> <p>【公表区分：その他】</p>
	※添付の有・無
その他の事項の対応 (注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事象該当事象の発生箇所，発生時刻，種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況，故障機器の応急復旧，拡大防止措置等の時刻，場所，内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況，被ばく患者発生状況等について記載する。

2/2

2018年12月16日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一 廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所構内1号機、2号機放水路サンプリング結果

単位:Bq/L

	1号機放水路立坑水		2号機放水路立坑水	
	上流側	下流側	上流側	下流側
採取日	12月14日	12月14日	12月14日	12月14日
採取時刻	8:05	8:45	9:10	8:50
Cs-134(約2年)	200	66	88	ND(7.3)
Cs-137(約30年)	2,400	680	1,100	64
全β	2,800	2,300	1,700	180
H-3(約12年)	210	370	ND(130)	220

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

15:34 (受)

様式0-1 (1/2) 1/1
(第19040報)

応急措置の概要 (原子炉施設)

平成30年12月16日15時10分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦
連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所 (注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻 (注1)	平成23年3月11日 16時36分 (24時間表示)
特定事象の種類 (注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要 (注2)	(対応日時, 対応の概要) 第19035報でお知らせしたとおり、サブドレン他水処理施設一時貯水タンクAに貯水していた水について、本日以下のとおり排水を実施しました。 ・排水開始 : 10時03分 ・排水終了 : 13時18分 ・排水量 : 485 m ³ 排水状況については、漏えい等の異常がないことを確認しております。 【公表区分: E】
その他の事項の対応 (注3)	※添付の有・無 なし

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

- (注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。
- (注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。
- (注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

15:34 (受)

1/8

様式9-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第19041報)

平成30年12月16日15時10分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦
 連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項口) (対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。
発生事象と対応の概要(注2)	<ul style="list-style-type: none"> ・プラント関連パラメータ [12月16日11時00分現在] ・集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果 [採取日 12月15日] ・福島第一原子力発電所構内排水路分析結果 [採取日 12月15日] ・福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 護岸地下水 [採取日 12月13日] ・福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 護岸地下水 [採取日 12月15日] ・福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 海水 [採取日 12月15日] ・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。 ・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。 ・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。 <p>サブドレン他水処理施設一時貯水タンクBの当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、12月17日に排水を実施します。 排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福島第一原子力発電所 サブドレン・地下水ドレン浄化水の分析結果 [採取日 12月12日] <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の有・無</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2/8

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2018年12月16日 11:00 現在

【留意事項】
各計測器については、地震やその他の異常振動の影響を受けて、過剰の検出誤差
条件を想定しているものもあり、正しく測定されない可能性のある計測器も存
在している。プラントの状態を把握するために、このような計測の不確かさを考
慮したうえで、複数の計測器から得られる情報を活用して変化の傾向にも留意し
て総合的に判断している。

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系：1.5m ³ /h CS系：1.3m ³ /h (12/16 11:00 現在)	給水系：1.4m ³ /h CS系：1.4m ³ /h (12/16 11:00 現在)	給水系：1.4m ³ /h CS系：1.4m ³ /h (12/16 11:00 現在)	
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1)：17.8°C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1)：17.7°C VESSEL DOWN COMMIER (TE-263-69G2)：17.7°C (12/16 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3)：24.1°C RPV温度 (TE-2-3-69R)：21.3°C (12/16 11:00 現在)	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1)：24.2°C RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1)：22.3°C (12/16 11:00 現在)	
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A)：18.2°C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F)：17.7°C (12/16 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B)：24.5°C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1)：24.3°C (12/16 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A)：23.9°C 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1)：21.8°C (12/16 11:00 現在)	
原子炉格納容器 圧力	1.29kPa g (12/16 11:00 現在)	1.59kPa g (12/16 11:00 現在)	0.35kPa g (12/16 11:00 現在)	
窒素導入流量 ※3	RPV (RVH)：14.07Nm ³ /h (JP-A)：14.54Nm ³ /h (JP-B)：-Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h (12/16 11:00 現在)	RPV：10.55Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h (12/16 11:00 現在)	RPV：17.44Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h (12/16 11:00 現在)	※4
原子炉格納容器 ガス管理システム 排気流量	22.2m ³ /h (12/16 11:00 現在)	14.81Nm ³ /h (12/16 11:00 現在)	18.66Nm ³ /h (12/16 11:00 現在)	
原子炉格納容器 水素濃度 ※1	A系：0.04vol% B系：0.00vol% (12/16 11:00 現在)	A系：0.09vol% B系：0.08vol% (12/16 11:00 現在)	A系：0.06vol% B系：0.05vol% (12/16 11:00 現在)	
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135) ※2	A系：指示値 8.60E-04 検出限界値 3.90E-04 Ba/cm B系：指示値 1.18E-03 検出限界値 3.40E-04 (12/16 11:00 現在)	A系：指示値 ND 検出限界値 1.5E-01 Ba/cm B系：指示値 ND 検出限界値 1.4E-01 (12/16 11:00 現在)	A系：指示値 ND 検出限界値 2.3E-01 Ba/cm B系：指示値 ND 検出限界値 2.3E-01 (12/16 11:00 現在)	
使用済燃料プール 水温度	25.8°C (12/15 11:00 現在)	31.3°C (12/16 11:00 現在)	31.0°C (12/16 11:00 現在)	17.2°C (12/16 11:00 現在)
FPC 貯蔵タンク 水位	3.49m (12/15 11:00 現在)	5.04m (12/16 11:00 現在)	3.31m (12/16 11:00 現在)	22.53×100mm (12/16 11:00 現在)

【計測器に関する情報】
※1：指示値がマイアスの場合は100.0%と記載する。(水素濃度が極めて低い場合は、計測精度によりマイアス表示される場合があるため)
原子炉格納容器ガス管理システムの水素濃度を記載する。
※2：指示値が生体限界値未満の場合はNDと記載する。原子炉格納容器ガス管理システムの水素濃度を記載する。
※3：使用済燃料の濃度・圧力で濃度補正した値を記載する。
※4：窒素導入停止中。
※5：2号機使用済燃料プール冷却液系停止中の値、2号機使用済燃料プール水温度に隣しては至近のデータに記載。なお、停止開始時(12/21 16時)時点の使用済燃料プール水温度は約41.7°C程度と推定。
※6：1号機使用済燃料プール冷却液系停止中の値、1号機使用済燃料プール水温度とFPCタンク水に隣しては至近のデータを記載。なお、使用済燃料プールの温度上昇率は-0.10°C/h程度と推定。

3/8

2018年12月16日

集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果

I-131 (Bq/L)

Table with columns for measurement location (測定場所) and dates from 11/25 to 12/15. Rows 1-9 show data for I-131 concentration in Bq/L.

Cs-134 (Bq/L)

Table with columns for measurement location (測定場所) and dates from 11/25 to 12/15. Rows 1-9 show data for Cs-134 concentration in Bq/L.

Cs-137 (Bq/L)

Table with columns for measurement location (測定場所) and dates from 11/25 to 12/15. Rows 1-9 show data for Cs-137 concentration in Bq/L.

※I-131はサンプリング測定を実施していないことを示す。
※⑥は④が検出不可となったため、地下水流の上流側として選定し、選1回程度の頻度で測定(2011/4/29~)
※⑦は地下水流の下流側であることから、追加で測定(2011/5/25~)
※⑧を追加で測定(2011/8/2~)
※⑨を追加で測定(2011/8/2~)
※NDは検出限界未満を示し、() 内に検出限界値を示す。

<測定箇所>

- ①4号T/B建屋南東
②プロセス主建屋北東
③プロセス主建屋南東
④プロセス主建屋南西
⑤集塵機廃棄物減容処理建屋南
⑥サイトバンカ建屋南西
⑦焼却工作建屋 西側
⑧機間体廃棄物減容処理建屋北
⑨サイトバンカ建屋南東

4/8

2018年12月16日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所構内排水路分析結果

単位: Bq/L

		A排水路		物揚場排水路	
採取日		12月14日	12月15日	12月14日	12月15日
採取時刻		7:32	7:37	7:35	7:40
降雨量(mm/日)		0	0	0	0
流量(m ³ /秒)		解析中	解析中	解析中	解析中
Cs-134(約2年)		ND(0.63)	ND(0.63)	ND(0.60)	ND(0.89)
Cs-137(約30年)		5.1	5.3	1.1	2.0
全β		11	11	ND(3.8)	4.0
H-3(約12年)		-	-	-	-

単位: Bq/L

		K排水路		BC排水路	
採取日		12月14日	12月15日	12月14日	12月15日
採取時刻		6:00	6:00	6:00	6:00
降雨量(mm/日)		0	0	0	0
流量(m ³ /秒)		解析中	解析中	解析中	解析中
Cs-134(約2年)		ND(1.1)	ND(0.89)	ND(0.63)	ND(0.65)
Cs-137(約30年)		6.5	4.8	ND(0.73)	ND(0.75)
全β		10	6.1	ND(3.7)	ND(2.9)
H-3(約12年)		-	-	-	-

* 太枠内が今回公表データ。他は12月15日までに知らせ済み。

* 測定対象外の項目は「-」と記す。

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

2018年12月16日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果(1/3)護岸地下水

単位: Bq/L (塩素除く)

採取日	地下水観測孔 No.0-1	地下水観測孔 No.0-1-2	地下水観測孔 No.0-2	地下水観測孔 No.0-3-1	地下水観測孔 No.0-3-2	地下水観測孔 No.0-4	地下水観測孔 No.1	地下水観測孔 No.1-6	地下水観測孔 No.1-8	地下水観測孔 No.1-9(甲)	地下水観測孔 No.1-11	地下水観測孔 No.1-12	地下水観測孔 No.1-14	地下水観測孔 No.1-16	地下水観測孔 No.1-17
採取時刻															
塩素(単位: ppm)															
Cs-134(約2年)															
Cs-137(約30年)															
その他															
γ															
全β															
H-3(約12年)															
Si-90(約29年)															

採取日	12号機ウエルポイント 汲み上げ水	地下水観測孔 No.2	地下水観測孔 No.2-2	地下水観測孔 No.2-3	地下水観測孔 No.2-5(甲)	地下水観測孔 No.2-6	地下水観測孔 No.2-7	地下水観測孔 No.2-8	地下水観測孔 No.3	地下水観測孔 No.3-2	地下水観測孔 No.3-3	地下水観測孔 No.3-4	地下水観測孔 No.3-5(甲)	3,4号機改修ウエル 汲み上げ水
採取時刻							12月13日							
塩素(単位: ppm)							7.59							
Cs-134(約2年)							460							
Cs-137(約30年)							ND(0.39)							
その他							1.0							
γ														
全β														
H-3(約12年)							300							
Si-90(約29年)							740							

* 太枠内が今回公表データ。他は12月14日にお知らせ済み。
 * NDは検出限界値未満を表し、「その他γ」を除き()内に検出限界値を示す。
 * 測定対象外の項目は「-」と記す。また、「その他γ」は検出されたときに記す。
 (注) No.1-9, 2-5, 3-5は、採水器による採取であるため、γ測定は実施せず。全βは参考値としてる過後に測定。

5/8

福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果(2/3)護岸地下水

単位: Bq/L (塩素除く)

採取日	地下水観測孔 No.0-1	地下水観測孔 No.0-1-2	地下水観測孔 No.0-2	地下水観測孔 No.0-3-1	地下水観測孔 No.0-3-2	地下水観測孔 No.0-4	地下水観測孔 No.1-8	地下水観測孔 No.1-9(塩)	地下水観測孔 No.1-11	地下水観測孔 No.1-12	地下水観測孔 No.1-14	地下水観測孔 No.1-16	地下水観測孔 No.1-17
採取時刻													
塩素(単位: ppm)													
Cs-134(約2年)													
Cs-137(約30年)													
その他													
γ													
全β													
H-3(約12年)													
Sr-90(約29年)													

採取日	1,2号機 ウエルポイント 汲み上げ水	地下水観測孔 No.2	地下水観測孔 No.2-2	地下水観測孔 No.2-3	地下水観測孔 No.2-5(塩)	地下水観測孔 No.2-6	地下水観測孔 No.2-7	地下水観測孔 No.2-8	地下水観測孔 No.3	地下水観測孔 No.3-2	地下水観測孔 No.3-3	地下水観測孔 No.3-4	地下水観測孔 No.3-5(塩)	3,4号機 改修ウエル 汲み上げ水
採取時刻							12月15日							
塩素(単位: ppm)							800							
Cs-134(約2年)							440							
Cs-137(約30年)							ND(0.30)							
その他							0.68							
γ														
全β														
H-3(約12年)							260							
Sr-90(約29年)							分析中							

* NDは検出限界値未満を表し、「その他γ」を除き()内に検出限界値を示す。
 * 測定対象外の項目は「ー」と記す。また、「その他γ」は検出されたときに記す。
 (注) No.1-9, 2-5, 3-5は、採水器による採取であるため、γ測定は実施せず。全βは参考値としてる過後に測定。

6/8

福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果(3/3)海水

単位: Bq/L

採取日	採取時刻	福島第一56号機放水口北側(T-1)	福島第一6号機取水口前	福島第一物揚場前	福島第一1~4号機取水口内北側(東洋除染北側)	福島第一1号機取水口(遮水壁前)	福島第一1~4号機取水口内南側(遮水壁前)	福島第一南放水口付近(T-2)	福島第一港湾口	福島第一港湾内東側	※告示濃度限度	WHO飲料水水質ガイドライン
12月15日	8:00	ND(0.47)	ND(0.47)	ND(0.37)	ND(0.45)	ND(0.46)	ND(0.79)	ND(0.67)	ND(0.49)	ND(0.30)	60	10
12月15日	7:33	ND(0.56)	ND(0.48)	ND(0.48)	3.9	4.4	3.3	ND(0.54)	ND(0.44)	0.81	90	10
12月15日	7:28	ND(16)	ND(16)	ND(16)	ND(16)	16	17	14	ND(15)	16	60,000	10,000
12月15日	7:18	ND(16)	ND(16)	ND(16)	ND(16)	16	17	14	ND(15)	16	30	10
12月15日	7:23	ND(16)	ND(16)	ND(16)	ND(16)	16	17	14	ND(15)	16	30	10
12月15日	6:55	ND(16)	ND(16)	ND(16)	ND(16)	16	17	14	ND(15)	16	30	10
12月15日	6:42	ND(16)	ND(16)	ND(16)	ND(16)	16	17	14	ND(15)	16	30	10
12月15日	6:39	ND(16)	ND(16)	ND(16)	ND(16)	16	17	14	ND(15)	16	30	10

単位: Bq/L

採取日	採取時刻	福島第一港湾内西側	福島第一港湾内北側	福島第一港湾内南側	福島第一港湾中央	福島第一北防波堤北側(T-0-1)	福島第一港湾口北東側(T-0-1A)	福島第一港湾口東側(T-0-2)	福島第一港湾口南東側(T-0-3A)	福島第一南防波堤南側(T-0-3)	※告示濃度限度	WHO飲料水水質ガイドライン
12月15日	6:36	ND(0.32)	ND(0.28)	ND(0.29)	ND(0.43)	ND(0.43)	ND(0.43)	ND(0.43)	ND(0.43)	ND(0.43)	60	10
12月15日	6:33	0.60	0.52	0.59	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	90	10
12月15日	6:45	ND(14)	ND(14)	ND(14)	17	17	17	17	17	17	60,000	10,000
12月15日	7:14	ND(14)	ND(14)	ND(14)	17	17	17	17	17	17	30	10

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

* 測定対象外の項目は「-」と記す。

※ 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度(別表第1第六欄:周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

8/8

2018年12月16日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 サブドレン・地下水ドレン浄化水の分析結果

単位: Bq/L

採取日	一時貯水タンクB (サンプルタンクB)		選用品標	告示濃度 ※1 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
	東京電力	第三者機関			
採取時刻	2018年12月12日	2018年12月12日			
貯水量 [m ³]	7:46	7:46			
セシウム134	590	590	1	60	10
セシウム137	ND(0.86)	ND(0.58)	1	90	10
その他 ガンマ核種	検出なし	検出なし	検出されないこと ※2		
全ベータ	ND(2.2)	ND(0.35)	3(1) (注)		
トリチウム	720	760	1,500	60,000	10,000

* 第三者機関: 東北緑化環境保全株式会社

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

(注) 選用品標の全ベータについては、10日に1回程度の分析では、検出限界値を 1 Bq/Lに下げて実施。

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度
(別表第1第六欄: 周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

※2 セシウム134, セシウム137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと(天然核種を除く)。

18:19 登

1/1

様式 0-1 (1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第19042報)

平成30年12月16日18時10分	
内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿	
第25条報告	報告者名 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー 福島第一原子力発電所 原子力防災管理者 磯貝 智彦 連絡先 0240-30-9301
原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき, 応急措置の概要を以下の通り報告します。	
原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	(対応日時, 対応の概要) 第19029報でお知らせしたとおり, 1号機使用済燃料プール(以下、「SFP」という。)については, 12月15日16時31分にSFP循環冷却系の運転を停止しました。その後, 第19036報, 第19037報にてお知らせしたとおり復旧作業を実施しました。 12月16日16時44分に1号機SFP循環冷却系の準備が整ったので, 運転を開始しました。その後, 運転状態については, 異常のないことを確認しました。 起動後の使用済燃料プール水温度は, 26.1℃(停止時26.1℃)です。 【公表区分:E】
	※添付の有・無 <input checked="" type="radio"/> 無
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは, 日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。